

令和7年度協働センター等講座支援事業について



1. 事業の趣旨

本事業は、協働センター等の地域機関が実施する講座と浜松 RAIN 房参加機関による講座を連携させ、子供達や市民に理科やものづくりに触れてもらうための事業で、平成 23 年度から実施しております。

地域機関で開かれるものづくり・理科講座等に対して、その講座にかかる経費を 1施設あたり上限5万円まで補助します。ぜひ積極的にご活用ください。

※朱書きの部分は昨年度からの変更点です。ご注意ください。

2. 支援の対象

募集期間：令和7年4月～令和8年2月

対象：協働センター等地域機関で実施予定の小中高生・一般市民向けの
ものづくり教室・理科教室・イベント等の講座等

支援科目例：講師謝金、講座補助者謝金、教材費、テキスト印刷費等

※他の支援と併用して本支援を受けることは構いませんが、同じ項目で重複した支出をすることはできません。

※飲食にかかる費用、事務用品(いずれも教材として使用する場合を除く)及び PC など通常業務に使用する備品類の購入、その他本事業の趣旨に沿わないと判断される内容については支援対象外となります。

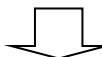
※教材を購入する際は、参加人数が確定してから、事前に浜松 RAIN 房までご連絡後のご購入をお願いいたします。

3. 支援の流れ

浜松 RAIN 房事務局にご連絡の上、講座内容等ご相談ください。
浜松 RAIN 房参加機関による講座メニューは、別紙 1・2 をご参照ください。講師の先生をご紹介します。
※メニューに無くても、独自に講師を呼ぶなど、やりたい事がありましたらご相談ください。



講師の先生と打合せを実施し詳細が決定しましたら、計画書に日程・内容・予算等の詳細をご記入の上、浜松 RAIN 房までご提出ください。



講座が終わりましたら、報告書と写真 2~3 枚程度を浜松 RAIN 房までご提出ください。報告書の提出で支援の完了となります。

4. 支援額

1施設につき、5万円以内（範囲内であれば何講座でもお申し込みいただけます）

※支援総額に限りがありますので上限を設定しますが、特別な企画の場合は別途ご相談下さい。

※申込み状況によっては希望額どおりに支援できない場合がありますので予めご了承ください。

5. 会計処理

会計処理は静岡大学が行います。

物品の購入について

- ・経費の現金払い、立替払いはできません。

教材を購入する際は、参加人数が確定してから、事前に浜松 RAIN 房までご連絡後のご購入をお願いいたします。

講師の謝金について

- ・大学の規定により、所定の書類（依頼書、承諾書、出勤簿等）及び講師・補助者等の銀行振込先の事前登録（初回登録の場合）が必要となります。講座開始の1週間前を目安に手続きの完了をお願いします。

- ・講師1名のみ一時間 3,000 円（交通費含む）

講師補助1名につき一時間 1,100 円（交通費含む）でお支払いします。

（※学生に謝金が発生する場合はこの限りではありません。必ず事前にお知らせください。）

- ・講師旅費については静岡大学の規定に従っていただきます。

6. 報告書の提出

講座実施終了後2週間以内に浜松 RAIN 房宛に別添報告書（A4 用紙2ページ）及び講師が写っている講座の内容がわかる写真3枚程度を提出してください（なるべく電子データでご提出ください）。報告書及び写真は事業報告等に使用するほか、浜松 RAIN 房の活動を紹介するため、ホームページ等を通じて一般公開されることがあります。あらかじめご了承ください。

7. その他

- ・当事業の利用にかかわらず、講座企画や講師依頼等についてのご相談も随時受け付けております。下記問い合わせ先までご連絡ください。
- ・本事業で製作する印刷物、コンテンツ等、あるいは実施する活動における各種標示においては、可能な範囲で「浜松 RAIN 房」の表示をお願いします。
- ・浜松 RAIN 房ホームページのイベントカレンダーで、イベント開催情報を掲載することが可能です。ご希望の場合は、浜松 RAIN 房までご連絡ください。
- ・行われた講座の内容を浜松 RAIN 房ホームページで紹介する場合があります。
- ・活動の際、参加者等に対し、浜松 RAIN 房の紹介やイベントの案内等をお願いする場合があります。

8. お問い合わせ・お申込み先

浜松 RAIN 房事務局（静岡大学工学部内）〒432-8561 浜松市中央区城北 3-5-1

電話&Fax 053-478-1759

電子メール trainbow@shizuoka.ac.jp

URL <http://train1.eng.shizuoka.ac.jp>

別紙 1 : 講座例

- ◆実施事業名 : 紙飛行機教室
- ◆実施団体名 : 日本紙飛行機協会浜松支部
- ◆講座時間 : 120 分
- ◆対象者 : 小学生 20～30 名 程度
- ◆目的 : 自分で紙飛行機を作って飛ばすことによって、科学に関する興味・関心を喚起させる。
- ◆講座内容 : 【第 1 部】 どうして飛行機は飛ぶのかな？（飛行機が飛ぶ原理を説明）
【第 2 部】 紙飛行機を作って飛ばそう！
- ◆材料 : 紙飛行機を印刷した紙（講師が用意します）、はさみ、ホッチキス
- ◆講師 : 1 名、実習補助者 1 名



紙飛行機の一例

- ◆実施事業名 : 体験しよう－196℃の世界
- ◆実施団体名 : 株式会社丸協酸素商会
- ◆講座時間 : 45～60 分
- ◆対象者 : 小 4 から小 6
- ◆講座内容 : 「なぜ？」を皆で考えながら「－196℃の世界」を体験するサイエンスショーです。
- ◆材料 : 生花（講師が用意します）
- ◆講師 : 1 名

